

Title	『法學研究』 既刊總目次一覽：第一卷 (大正十一年度) 第一號より第三十一卷 (昭和三十三年度) 第十號迄
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1958
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.31, No.11 (1958. 11) ,p.(1)- (37)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	慶應義塾創立百年記念特集記事
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19581115-0137

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『法學研究』既刊總目次一覽

第一卷（大正十一年度）第一號より
第三十一卷（昭和三十三年度）第十號迄

第一卷（大正十一年度）

第一號

民主政治論

同時履行抗辯と履行遲滞との關係

英國會と種族會

支那國務總理論

對敵通商禁止に關する英米主義の理論と其變遷

○自由法運動（西本辰之助）

第二號

英國會の眞意義

同時履行抗辯と受領遲滞との關係

日本に於ける外國會社の地位

氏名權論

支那大總統論

○支那婦人論（細井芳平抄譯）

○Dos et Donatio propter Nuptias（峯岸治三）

田中 萃一郎

神戶 寅次郎

占部 百太郎

及川 恒忠

板倉 卓造

占部 百太郎

神戶 寅次郎

西本辰之助

小池 隆一

及川 恒忠

第三號

海戰の際敵の商船取扱に關する英國主義

ノルマン國會

繼父母と繼子

勞農露西亞の外交

使者の法律上の地位

私犯の性質

○獨逸共和保護法（西本辰之助）

第四號

再び支那大總統に就て

續・株式會社發起人論

社會學者の政治研究

貨幣購買力變動の豫測

アングロ・サクソン國會

○民事判例研究（小池隆一）

約法（峯岸治三）

第二卷（大正十二年度）

第一號

ラフスキイ氏の國家論

馬克相場の安定に關する國際委員會の提案を評す

板倉 卓造

占部 百太郎

河村 讓三郎

山崎 又次郎

小池 隆一

峯岸 治三

及川 恒忠

西本辰之助

田中 萃一郎

高城 仙次郎

占部 百太郎

岩野 稔著「米國契

田中 萃一郎

高城 仙次郎

民事に於ける法と裁判

雇傭契約に關する二三の考察

政治學の性質及び範圍

英法に於ける妻の契約上の能力

Pacht-System und Hypothekensystem Theodor Sternberg

○新刊紹介 岡村司著「民法と社會主義」(小池隆一)

第二號

私法の缺陷に就いて

支那府院問題に對する一考察

公共團體即ち國家の概念

勞働契約の性質

議決權株(一)

陪審制度廢すべし

Die Bedeutung der Handelsgesellschaften und der

Unterzung des antiken Welt Theodor Sternberg

○占部教授の「佛蘭西革命史論」を讀みて(及川恒忠) ○新刊紹介 小池隆一著「法學通論」(峯岸治三)

第三・四合併號

アングロ・サクソン國會

犯罪研究の推移

契約の解除に就いて

民法を通じて見たる類推の觀念(一)

西本辰之助

小池隆一

山崎又次郎

峯岸治三

Theodor Sternberg

(小池隆一)

西本辰之助

及川恒忠

山崎又次郎

小池隆一

西本辰之助

峯岸治三

Theodor Sternberg

(及川恒忠) ○新刊紹介 小池隆一著「法學通論」(峯岸治三)

占部百太郎

荻野万之助

小池隆一

淺井清

議決權株(二・完)

公共團體即ち國家の本質に關する二三の考察

モラトリウムの概念と日英佛の實例

震災善后策の批評

姉妹の爲めにする養子縁組

○支那今日の法制(一)(及川恒忠)

第三卷(大正十三年度)

第一號

各國憲法に於ける上院の地位

親權濫用に關する二三の考察

民法を通じて見たる類推の觀念(二)

假小屋と火災保險問題

Freie Rechtsfindung und unmittelbare Demokratie (1)

○支那今日の法制(二)(及川恒忠)

○民事判例管見誌(一)(峯岸治三)

第二號

政治思想上憲法發布前

消費貸借に於ける借主の返還時期

比例代表法に就て

○民事判例管見誌(二)(峯岸治三)

西本辰之助

山崎又次郎

相原文雅

高城仙次郎

峯岸治三

山崎又次郎

小池隆一

淺井清

西本辰之助

Theodor Sternberg

(及川恒忠) ○民事判例管見誌(一)(峯岸治三)

板倉卓造

小池隆一

山崎又次郎

第三號

金解禁の可否

立法の懈怠か裁判の偏狭か

社會と協働

エールリツヒの權利能力論 (一)

議會制度の不信用と其改革

Freie Rechtsfindung und unmittelbare

Demokratie (2)

Theodor Sternberg

第四號

預金部改造に就いて

エールリツヒの權利能力論 (二)

概念の相對性と法律の目的に依る其限界

我民法に於ける各種追認の差異 (一)

○民事判例管見誌 (三) (○穿岸治三)

成瀨 義 春

小池 隆 一

西本 辰之助

相原 文 雅

第四卷 (大正十四年度)

第一號

株式引受の性質に關する學說と批評

エールリツヒの權利能力論 (三・完)

獨占價格に就きて (上)

Die Rechtsanwaltschaft bei dem

Reichsgericht (I)

西本 辰之助

小池 隆 一

高城 仙次郎

Theodor Sternberg

○支那今日の法制 (三・完) (及川恒忠) ○新刊紹介 孫田秀

春著「勞働法總論」(小池隆一)

第二號

獨占價格に就きて (二・完)

宗教改革期政治學說上のチュードル王制

賃借權の讓渡及び轉貸の制限に就いて

政治學史上のマキアヴェリとホッブス (一)

ペンサムの功利主義的犯罪及び刑罰觀 (一)

我民法に於ける各種追認の差異 (二)

Die Rechtsanwaltschaft bei dem

Reichsgericht (II)

Theodor Sternberg

○新刊紹介 末川博著「民法に於ける特殊問題の研究」第一卷

(小池隆一)

第三號

君主神權說

政治的關心

ケルゼンの權力分立論

我民法に於ける各種追認の差異 (三・完)

英法上の合有の觀念に付きて

板倉 卓 造

佐原 六 郎

堀 眞 琴

相原 文 雅

本莊 鐵 次郎

第四號

卸相場對小賣相場變動の一致率

歐洲中世に於ける羅馬法に就いて (一)

高城 仙次郎

槇 智 雄

小池 隆 一

島田 久 吉

永澤 邦 男

相原 文 雅

高城 仙次郎

小池 隆 一

古代及び中世に於ける社會契約思想
社國と組合(一)

島田久吉
西本辰之助

金輪解禁の準備
賣買一方の豫約と試驗賣買との關係
公衆と公論(政治心理學的考察)
パウンドのアメリカ法概論(三)
ペンサムの功利主義的犯罪及び刑罰觀(二)

高城仙次郎
小池隆一
佐原六郎
峯岸治三
永澤邦男

第五卷(大正十五年度)

第一號

投資物としての公債株券並に社債の優劣
十九世紀に於ける英國會の改革
アメリカに於ける社會法學の發達

高城仙次郎
占部百太郎
堀真琴

英國憲法の發達と法律家
亂雜憲憲の植民地法制
法律生活の安定に就いての考察
パウンドのアメリカ法概論(四)
パウンドの法律と道德(一)

山崎又次郎
西本辰之助
堀江專一郎
峯岸治三
前原光雄

歐洲中世に於ける羅馬法に就いて(二)
パウンドのアメリカ法概論(一)

小池隆一
峯岸治三

Wahlrecht und Wahlpraxis in
Sowjetrusland

前原光雄

○民事判例管見誌(四)(峯岸治三)
第二號

豫算難解の理由

成瀬義春

第六卷(昭和二年度)

社國と組合(二)
歐洲中世に於ける羅馬法に就いて(三・完)
パウンドのアメリカ法概論(二)

西本辰之助
小池隆一
峯岸治三

第一號
初期スチュアート民權論とコンモン法
國家社會學の概念と方法
農村權利争闘の進化
パウンドの法律と道德(二)

堀智雄
堀真琴
相原文雅
前原光雄

獅子の組合
公船の概念について

相原文雅
前原光雄

○英國政治學界近況(潮田江次)

第三號

民事訴訟法改正

河村讓三郎

恐慌の導火線

高城仙次郎

Prof. Dr. Leo Zaitreff

社團と組合 (三)

西本辰之助

ペンサムの功利主義的犯罪及び刑罰觀 (三・完)

永澤邦男

パウンドの法律と道徳 (三・完)

前原光雄

Zeitungsverlag und Schriftstellerschutz

Theodor Sternberg

各國に於ける比例代表法の經驗 (二・完)

山崎又次郎

社團と組合 (五・完)

西本辰之助

ロンブローゾの生來犯罪人論

永澤邦男

ニールリッヒの「自由なる法律發見及び自由法學」(一)

西本辰之助

第三號

英國現司法制度概觀

占部百太郎

社團と組合 (四)

西本辰之助

國債の法律構成 (一)

相原文雅

○故ポール・ウイノグラドフ教授 (峯岸治三・三井義人)

第四號

各國に於ける比例代表法の經驗 (二)

山崎又次郎

維新當時の郡縣思想 (一)

堀眞琴

國債の法律構成 (二・完)

相原文雅

デュギイの主權否認論と國際法 (一)

前原光雄

Freie Rechtsfindung und unmittelbare

Theodor Sternberg

Demokratie (III) ○新刊紹介 占部百太郎著「英國憲政史」(植智雄)

第七卷 (昭和三年度)

第一號

地租委譲に就いて

成瀬義春

各國に於ける比例代表法の經驗 (二・完)

山崎又次郎

社團と組合 (五・完)

西本辰之助

ロンブローゾの生來犯罪人論

永澤邦男

ニールリッヒの「自由なる法律發見及び自由法學」(一)

西本辰之助

Freie Rechtsfindung und unmittelbare

Demokratie (IV)

Theodor Sternberg

第二號

外交官の Persona grata と agrément に

關する一惡例としてのヒル事件

板倉卓造

維新當時の郡縣思想 (二・完)

堀眞琴

行政の概念の更新

淺井清

沈黙の效用

相原文雅

Freie Rechtsfindung und unmittelbare

Demokratie (V)

Theodor Sternberg

第三號

勞働者と月給取の生活狀態の比較

高城仙次郎

擔保附社債信託法の不備に就いての小見

栗栖越夫

獨逸憲法の若干の考察 (一)

淺井清

鍊業抵當論

栗栖越夫

デュギイの主權否認論と國際法 (二)

前原光雄

監獄改良運動の先驅者、ジョン・ハワード (一)

永澤邦男

—— 彼の生涯とその業績 ——

第四號

獨逸憲法の若干の考察 (二・完)

淺井清

デューギイの主權否認論と國際法 (三・完)

前原光雄

ニールリッヒの「自由なる法律發見及び自由法學」(二・完)

西本辰之助

Freie Rechtsfindung und unmittelbare Demokratie (VI)

Demokratie (VI)

Theodor Sternberg

第八卷 (昭和四年度)

第一號

エドワード七世が行使した大權の範圍

占部百太郎

獨逸憲法の若干の考察 (三・完)

淺井清

法律及び契約の權威の類廢に就いて (一)

小池隆一

Statute Titles

W. Summerfield

第二號

獨逸國民の基本權及基本義務

淺井清

政治概念の社會進化史的考察

堀眞琴

—— ヴーノルド政治概念研究 ——

法律及び契約の權威の類廢に就いて (二・完)

小池隆一

商法第二百條社債總額の制限に就いて

栗栖越夫

第三號

純粹法學的國家概念の創設
平價切下の可否

淺井清
高城仙次郎

Cornil の私法論 (一)

小池隆一

監獄改良運動の先驅者、ジョン・ハワード (二)

永澤邦男

—— 彼の生涯とその業績 ——

國際平和思想發達の史的概観 (一)

前原光雄

The Law of Arbitrations and Awards

W. Summerfield

第四號

擔保附社債信託法の研究 (一)

栗栖越夫

Cornil の私法論 (二)

小池隆一

國際平和思想發達の史的概観 (二)

前原光雄

The Essence of Roman Law

Theodor Sternberg

第九卷 (昭和五年度)

第一號

商法改正私見 (一)

西本辰之助

擔保附社債信託法の研究 (二)

栗栖越夫

Cornil の私法論 (三・完)

小池隆一

私法に現れたる豫防觀と解決觀

相原文雅

國際平和思想發達の史的概観 (三・完)

前原光雄

Agents in Insurance Law

W. Summerfield

○拙著「憲法總論」に對する宮澤俊義氏の批評に就いて (山崎

又次郎) ○新刊紹介 フランス學會編「フランスの社會科學」
(小池隆一)

第二號

無能力者の詐術に就いて
近代國家
擔保附社債信託法の研究(三)
日本銀行の法的組織(一)
Sole of Goods "With all Faults" W. Summerfield

○新刊紹介 我妻榮著「民法總則」(小池隆一)、鳩山秀夫著
「民法研究第二卷(物權)」(小池隆一)、フランス私法最近の文
獻(小池隆一)

第三號

樞密院問題
支那憲法史抄
シャルモンの私法變遷論の一節(一)
○新刊紹介 石田文次郎著「現行民法總論」(小池隆一)、フラ
ンス私法最近の文獻(小池隆一)

淺井 清
及川 恒忠
小池 隆一

第四號

英國憲法政治の變調
レンテルヌイ捕獲事件に關する當時の日本
外務省辯明書(一)

占部 百太郎
板倉 卓造
及川 恒忠

國民政府の財政方針

陪審に關する最近二三の問題
シャルモンの私法變遷論の一節(二・完)
Kernpunkte der Lehre Stammers Theodor Sternberg

○新刊紹介 長場正利譯「ザヴィニー・テイボー法典論議」
(小池隆一)、石田芳穂氏譯「シュタムラー債權法理論」(小池
隆一)、フランス私法最近の文獻(小池隆一)

第十卷(昭和六年度)

第一號

英國に於ける歴史法學
レンテルヌイ捕獲事件に關する當時の日本
外務省辯明書(二・完)
イギリス證據法概論(一)
近代私法に於ける基礎概念の研究(一)
○イギリス法判例雜考(一)(峯岸治三)
ンハット(峯岸治三)

板倉 卓造
峯岸 治三
今泉 孝太郎
○故ロッド・パーク

第二號

擔保附社債信託法の研究(四・完)
日本銀行の法的組織(二・完)
ジエレミー・ベントムと法律學
○イギリス法判例雜考(二)(峯岸治三)

栗栖 越夫
相原 文雅
峯村 光郎

第三號

第三號

イギリス證據法概論(一)

峯岸治三

近代私法に於ける基礎概念の研究(二)

今泉孝太郎

○イギリス法判例雜考(三)(峯岸治三)

第四號

イギリス證據法概論(三)

峯岸治三

國民政府外交部の現組織

英 修 道

○憲法行政判例研究(一)(淺井清) ○イギリス法判例雜考(四)

○英憲法(三) ○小田切本「日本國憲按」及附屬資料(淺井清)

第十一卷(昭和七年度)

第一號

佛法に於ける事務管理(一)

小池隆一

自由の正義化

潮田江次

民法に於ける不作爲の現象學的研究(二)

今泉孝太郎

○英國議會制度の傳承に關する資料(一)(淺井清) ○イギリス法判例雜考(五)(峯岸治三) ○The Constitution of

Japan, by Dr. N. Matsunami, 1930. (淺井清)

第二號

佛法に於ける事務管理(二・完)

小池隆一

イギリス證據法概論(四)

峯岸治三

民法に於ける不作爲の現象學的研究(二)

今泉孝太郎

ルドルフ・フォン・イェーリングと目的法學

峯村光郎

○英國議會制度の傳承に關する資料(二)(淺井清) ○民事判例研究(小池隆一) ○イギリス法判例雜考(六)(峯岸治三)

第三號

歐米社債法制と兩法系の對立(一)

栗栖起夫

イギリス證據法概論(五)

峯岸治三

ベルギーに於ける近代行刑制度の發達(一)

永澤邦男

中華民國「不平等條約」逐條研究(二)

英 修 道

○英米法記事

第四號

歐米社債法制と兩法系の對立(二)

栗栖起夫

ベルギーに於ける近代行刑制度の發達(二・完)

永澤邦男

民事訴訟法第七十條に所謂裁判の效力の本質を論ず

宮崎澄夫

中華民國「不平等條約」逐條研究(二)

英 修 道

○英米法記事

第十二卷(昭和八年度)

第一號

支那政黨史抄(一)

及川恒忠

自由民權思想と佛蘭西カルヴァン派の人々(一)

島田久吉

歐米社債法制と兩法系の對立(三・完)

栗栖起夫

中華民國「不平等條約」逐條研究(三)

英 修 道

民法に於ける不作爲の現象學的研究 (二) 今泉孝太郎

○文獻紹介 Sowjetunion und Völkerrecht, von Dr. Karl Manzen, 1932. (前原光雄) ○判例 ○英米法記事

第二號

フォクランド島の歸屬問題 (一)

支那政黨史抄 (二・完)

空戦法規序論 (一)

イギリス證據法概論 (六)

自由民權思想と佛蘭西カルヴァン派の人々 (二) 島田久吉

アントン・メンガアの法曹派社會主義理論 峯村光郎

○最近國際政治情勢 ○法學界事報 ○文獻紹介 ラスキー著

「危機にある民主政治」(潮田江次) ○判例 ○英米法記事

第三號

準契約に就いて (一)

空戦法規序論 (二)

ケルゼンと國家及政治

中華民國「不平等條約」逐條研究 (四)

○資料 伊藤本「國憲」及「國憲草案按各議員意見書」(淺井清)、

ベルジックに於ける精神異常犯罪者並に累犯者に對する社會防

衛法実施二ヶ年の業績に就いて(永澤邦男) ○法學界事報

○最近國際政治情勢 ○文獻紹介 及川恒忠教授撰「支那政治

組織の研究」(島田久吉) ○判例 ○英米法記事

第四號

フォクランド島の歸屬問題 (二)

準契約に就いて (二・完)

イギリス證據法概論 (七)

法律妥當の本質及根據 (一)

フレイザーの呪術師君主論

英法に於ける公信託 (Public Trust) に付て (上)

○資料 買收選舉と米合衆國州憲法の規定について(島田久吉)

○最近國際政治情勢 ○法學界事報 ○文獻紹介 ハインシヨ

ウ著「英國における保守主義」(一九三三年)(潮田江次) ○

判例 ○英米法記事

第十三卷(昭和九年度)

第一號

フォクランド島の歸屬問題 (三・完)

英國初期の土地信託と普通法裁判所

空戦法規序論 (三・完)

政治組織の心理學的再檢討

——グラム・ウォルラスに據る一考察——

法律妥當の本質及根據 (二・完)

英法に於ける公信託 (Public Trust) に付て(中) 齋藤壽郎

板倉卓造

小池隆一

峯岸治三

今泉孝太郎

伊藤政寛

齋藤壽郎

板倉卓造

栗栖勉夫

前原光雄

米山桂三

今泉孝太郎

齋藤壽郎

Strengrecht und Billigkeitsrecht Theodor Sternberg

○資料 張知本氏の「民國憲法起草意見」の解説(及川恒忠)、漢譯「國憲」の發見(淺井清) ○最近國際政治情勢 ○文獻紹介 カアル・シュニット「國家、運動、人民」(潮田江次) ○判例

第二號

自由民權思想と佛蘭西カルヴァン派の人々(三) 島田久吉 千九百三十三年十月の獨逸民事訴訟法の改正に就て 宮崎澄夫

株式會社代表態様の分類と代表者資格證明の方法

相原文雅 伊藤政寛 封建君主としてのフランス國王

英法に於ける公信託 (Public Trust) に付(下)

齋藤壽郎 ○資料 今日に於けるヘンリー・メーン(峯岸治三) ○最近國際政治情勢 ○判例 ○英米法記事

第三號

マキヤヱリ「國君論」辯(一)

潮田江次 露西亞の法律哲學に於ける現象學的傾向 今泉孝太郎

中華民國「不平等條約」逐條研究(五・完) 英 修 道

Les Sources du Droit Civil Français Moderne

Leon Julliot de la Morandière

○最近國際政治情勢 ○判例

第四號

グロチウスの沿岸領海思想 前原光雄 マキヤヱリ「國君論」辯(二・完) 潮田江次 「社會行爲」に就て 米山桂三

——エルウッドに據る研究——

フエルゲナンド・ラッセルの民主主義的法理論 峯村光郎 ○故高城仙次郎博士肖像 ○資料 後の行爲の證據(峯岸治三) ○最近國際政治情勢 ○判例

第十四卷(昭和十年度)

第一號

改正衆議院議員選舉法 山崎又次郎

受領遲滞と債權者の受領義務 小池隆一

イギリス證據法概論(八) 峯岸治三

海法判例研究(一) 島谷英郎

アテネのデモクラーシー 伊藤政寛

○時論 ザールの國際統治制度終る(前原光雄) ○最近國際

政治情勢 ○法學界事報 ○文獻紹介 三谷隆正「法律哲學原

理」(峯村光郎) ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義塾英

米法研究會編)

第二號

委員會政治論

島田久吉

抵當權從屬性の本質的否定

今泉孝太郎

「心意の發達」と「目的の進化」

米山桂三

Modern Developments in Aviation Law,

John H. Wignmore

——ホフハウスに據る研究——

戸鞠雅彦

National and International

John H. Wignmore

トマス・ホップスの社會契約説(一)

戸鞠雅彦

○資料 ヘルギーオーグストラートン「ブリゾン・エコール」

——「リヴァイアサン」の功利論的性格——

を觀る(永澤邦男) ○最近國際政治情勢

○最近國際政治情勢 ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義

君著「滿洲國と門戸開放問題」(及川恒忠) ○判例 ○本邦英

熟英米法研究會編)

米法文獻目錄(慶應義熟英米法研究會編)

○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義

第三號

第十五卷(昭和十一年度)

革命の遠兆としての外國旅行(上)

板倉卓造

第一號

——我維新史に就て革命理論上の一考察——

小池隆一

イギリス證據法概論(一一・完)

峯岸治三

佛法に於ける契約の解除に就て(一)

小池隆一

所謂「國家外の政治現象」に就いて(上)

潮田江次

イギリス證據法概論(九)

峯岸治三

近世フランスに於ける王權の擡頭(上)

伊藤政寛

監獄改良運動家としてのジョン・ハワードの思想と業績(上)

永澤邦男

ハムビ法典(紀元前廿世紀)の階級性

井上芳郎

法源としての條約

前原光雄

信託法制の歴史的發達と其の理論(一)

河邊幸吉

中米運河計畫とパナマに於ける米國の地位

英 修 道

○最近國際政治情勢 ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義

○最近國際政治情勢 ○判例

英 修 道

熟英米法研究會)

第四號

第二號

革命の遠兆としての外國旅行(下)

板倉卓造

所謂「國家外の政治現象」に就いて(中)

潮田江次

——我維新史に就て革命理論上の一考察——

板倉卓造

郡縣思想の發達(一)

淺井清

佛法に於ける契約の解除に就て(二・完)

小池隆一

佛國社債法及新立法

栗栖越夫

イギリス證據法概論(一〇)

小池隆一

債務引受契約と第三者の爲にする契約との異同(一)

相原文雅

イギリス證據法概論(一〇)

峯岸治三

○資料 拂波士著「主權論」(明治十六年)(戸鞠雅彦) ○最近國際政治情勢 ○判例 ○新法令 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義塾英米法研究会)

相原文雅

第三號

郡縣思想の發達(二)

淺井清

轉質の法律上の性質及び效果に就いて所謂「國家外の政治現象」に就いて(下)

小池隆一

一九二七年・南京事件

潮田江次

信託法制的歴史的發達と其の理論(二)

英修道

本能と政治(一)

河邊幸吉

シュメル法に現はるる家族制度(一)

米山桂三

○資料 Japanese privaterechtliche Sondergesetzung (Kotaro Imazumi) ○判例研究 代位辨濟と抵當權の移轉

登記・契約解除と返還すべき物件の使用料(小池隆一)、民法第九七三條の意義(峯岸治三) ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義塾英米法研究会)

○資料 イギリス控訴院判決—口頭誹毀事件(峯岸治三)、米國各州法制上に於ける市の分類について(一)(島田久吉) ○最近國際政治情勢 ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義塾英米法研究会)

第四號

第二號

郡縣思想の發達(三)

淺井清

シュメル法に現はるる家族制度(二・完)

井上芳郎

近世フランスに於ける王權の擡頭(中)

伊藤政寛

法と強制

峯村光郎

債務引受契約と第三者の爲にする契約との異同(二)

峯村光郎

○判例研究 同時履行の抗辯權と不當利得・債務履行の引受と第三者の爲にする契約(小池隆一) ○最近國際政治情勢 ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義塾英米法研究会)

○資料 獨逸私法學の情勢と任務(今泉孝太郎)、アルヴァレス「現代國際法の基本的綱領及び大原則の宣言」(前原光雄) ○判例研究 法定地上權の對抗力・不法行為の損害賠償と治療費(小池隆一) ○最近國際政治情勢 ○文獻紹介 ホップス

政治學の對象について—戸澤教授を駁す(一) 潮田江次

シュメル法と婦人の地位 井上芳郎

○資料 獨逸私法學の情勢と任務(今泉孝太郎)、アルヴァレス「現代國際法の基本的綱領及び大原則の宣言」(前原光雄)

○判例研究 法定地上權の對抗力・不法行為の損害賠償と治療費(小池隆一) ○最近國際政治情勢 ○文獻紹介 ホップス

○資料 イギリス控訴院判決—口頭誹毀事件(峯岸治三)、米國各州法制上に於ける市の分類について(一)(島田久吉) ○最近國際政治情勢 ○判例 ○本邦英米法文獻目錄(慶應義塾英米法研究会)

著「政治哲學の基礎と生成」(戶鞠雅彦) ○判例 ○本邦英米
法文獻目錄(慶應義塾英米法研究會)

第三號

郡縣思想の發達(四・完)

淺井清

政治學の對象について——戶澤教授を駁す(二・完)

潮田江次
河邊幸吉

信託法制の歴史的發達と其の理論(四)

○資料 伊藤博文の聽けるスタインの講義(清水伸) ○最近國
際政治情勢 ○判例 ○口繪

第四號

常設委員會の活動に關する一考察(下)

版籍奉還と郡縣思想(一)

島田久吉
淺井清

競賣の結果に於ける土地所有者と建物所有者との權利關係

相原文雅

○資料 米國各州法制上に於ける市の分類について(二・完)

(島田久吉)、伊藤博文とグナリストとの交渉と博文の聽けるモ
ッセの憲法講義(清水伸) ○最近國際政治情勢 ○文獻紹介

グーウ著「社會契約、其發達の批判的研究」(戶鞠雅彦) ○判例

第十七卷(昭和十三年度)

第一號

版籍奉還と郡縣思想(二・完)

淺井清

滿・蒙・疆と蘇聯邦との國境條約沿革考(一) 英 修 道
リシュリュウの外交政策 松本七郎

○資料 伊藤博文の渡歐・憲法取調の用意と博文の聽けるモ
ッセの憲法講義(清水伸) ○最近國際政治情勢 ○判例

第二號

ナチス獨逸に於ける法律制度の統制(一)
ヘラー「國家論の任務」

今泉孝太郎
松本七郎

○資料 伊藤博文の憲法取調方針と其の理論、附・博文の聽け
るモッセの憲法講義(清水伸)、米國に於ける政治學の獨立に關
する一資料(園内白) ○最近國際政治情勢 ○判例

第三號

廢藩置縣と郡縣思想(一)

淺井清

ナチス獨逸に於ける法律制度の統制(二・完)

今泉孝太郎

信託法制の歴史的發達と其の理論(五)

河邊幸吉

バビロン法の神婦と其の社會的起原

井上芳郎

Der Witz in Recht

Theodor Sternberg

○最近國際政治情勢 ○判例

第四號

廢藩置縣と郡縣思想(二・完)

淺井清

イギリスに於ける書證法の改正(一)

峯岸治三

マゼランの對外政策

松本七郎

Entwickelung und Krisis des Volkerrechts

Theodor Sternberg

○最近國際政治情勢 ○判例

第十八卷 (昭和十四年度)

第一號

- イギリスに於ける書證法の改正 (二) 峯岸治三
- 明治二年の官吏選舉 淺井清
- 信託法制の歴史的發達と其の理論 (六) 河邊幸吉
- 九州帝國大學講師田村豊氏著「英國刑事裁判の研究」を讀む 峯岸治三

○市政論研究の發展と其の文獻について (上) (島田久吉) ○

新法令 ○判例

第二號

- 土佐派の議會政治論と後藤象二郎 淺井清
- イギリスに於ける書證法の改正 (三) 峯岸治三
- 轉換期に於ける政治的宣傳の研究 米山桂三
- Kritik der Todesstrafe von Processualistischen Standpunkt Theodor Sternberg

○故神戸寅次郎教授肖像及履歴 ○イギリスに於ける新立法 (峯岸治三) ○判例研究 市税滯納處分に因る差押登記の適否と惡意の第三取得者・株券の差押と民事訴訟法第五百七十一條所定の特別處分 (宮崎澄夫)、年金受給權の消滅と年金受給代

理權の消滅・消滅時效完成後既存債務の申出と時効利益の拋棄 (峯村光郎) ○新法令 ○判例

第三號

- 佛民法に於ける事情變更の原則に就て (一) 小池隆一
- イギリスに於ける書證法の改正 (四) 峯岸治三
- 島津久光の不平 (其一) 淺井清
- 契約理論の變轉 今泉孝太郎
- シュメル及バビロン法に於ける婚姻 井上芳郎
- Der Aufbau des deutschen Fuhrerstaates Otto Koellreuter

○市政論研究の發展と其の文獻について (中) (島田久吉) ○

判例

第四號

- 佛民法に於ける事情變更の原則に就て (二) 小池隆一
- 島津久光の不平 (其二) 淺井清
- 獨逸に於ける「第三ライヒ」の意味 今泉孝太郎
- 政治學に於ける數と數量的方法 (上) 島田久吉
- 判例

第十九卷 (昭和十五年度)

第一號

イギリスに於ける書證法の改正 (五) 峯岸治三

改正商法に於ける新社債制度

「ライヒ」(Reich)と「第三ライヒ」について

島津久光の不平(其三・完)

佛民法に於ける事情變更の原則に就て(三・完)

ルイ十四世と歐洲

○資料 莊内ワッペ事件の一資料(國分剛二) ○判例

【註】當時の出版事情その他の理由で、第十九卷第二號以後は

休刊の止むなきに至つた。しかし、翌十六年四月には「法學

研究」第一輯という別形式の雜誌を發行した。

法學研究 第一輯(昭和十六年度)

大阪會議と元老院の設立

近世私法史(一)

ルイ十四世とウイリアム三世の鬭爭

○判例

【註】第二輯以後は續刊の選びに至らなかつた。

第二十卷(昭和二十二年度)

第一號

復刊の辭

民法改正に就いて

法の本質的性格について

栗栖 越夫

間崎 万里

淺井 清

小池 隆一

松本 七郎

松本 七郎

松本 七郎

松本 七郎

松本 七郎

松本 七郎

松本 七郎

淺井 清

河邊 幸吉

松本 七郎

松本 七郎

松本 七郎

松本 七郎

松本 七郎

小池 隆一

小池 隆一

小池 隆一

峯村 光郎

峯村 光郎

——法の人間學的考察序説——

第二號

物權の變動について(上)

國際政治に於ける國家の問題

○フランス新刊書目(伊藤政寛)

第三號

一人會社について(一)

物權の變動について(下)

【註】十月に復刊第一號を出版したため、二十二年度は第三號

までで終りである。

第二十一卷(昭和二十三年度)

第一號

ネルチンスク條約に就いて

米國證據法の基本的特質(一)

——わが國と比照して——

第二號

現代に於ける行政の特徴

米國證據法の基本的特質(二・完)

——わが國と比照して——

第三號

英國海法の起源

故勝 本文夫

内山 正熊

津田 利治

故勝 本文夫

津田 利治

故勝 本文夫

故勝 本文夫

故勝 本文夫

故勝 本文夫

故勝 本文夫

故勝 本文夫

故勝 本文夫

英 修 道

伊 東 乾

伊 東 乾

伊 東 乾

永 田 一 郎

伊 東 乾

伊 東 乾

伊 東 乾

伊 東 乾

伊 東 乾

島 谷 英 郎

フランク王制

伊藤政寛

第四號

船舶の敵性に關するフランス主義

前原光雄

——第一次大戦の判例を中心として——

農民の法律性格

今泉孝太郎

中國憲法の基本的諸問題に關する一考察(一)

石川忠雄

——一九三三年以降の制憲論争を中心として——

第五號

政治心理學成立の現代的意義

中村菊男

中國憲法の基本的諸問題に關する一考察(二・完)

石川忠雄

——一九三三年以降の制憲論争を中心として——

民法改正の意義(一)

田中實

——日本資本主義の發展と身分法——

第六號

アメリカ革命と新聞

生田正輝

民法改正の意義(二)

田中實

——日本資本主義の發展と身分法——

○資料「大日本教育會」の法典論(手塚豊)

第七號

明治初年の民法草案

手塚豊

社會革命期に於ける心理狀態

中村菊男

○紹介と批評 エメリー・リーブズ「平和の解剖學」(内山正)

熊、戦後の商法學界(高島正夫) ○報告 經濟統制法の考え

方(社會法研究會) ○研究發表會記事

第八號

輿論の統計的・狀態的分析

米山桂三

エケヤティの四段階

伊東乾

○紹介と批評 家永正章著「米國の民主政治」(中村菊男、民

訴法の一書三稿(伊東乾) ○民事法ノート(一)

第九號

法的主體からみた勞働法

峯村光郎

初島の社會調査に關する中間報告(一)

生田正輝

○紹介と批評 森長英三郎著「生産管理と法律問題」(須藤次

郎) ○國際問題の展望 ○民事法ノート(二) ○研究發表會

記事

第十號

轉換期の外交

内山正熊

民法改正の意義(三・完)

田中實

——日本資本主義の發展と身分法——

○國際問題の展望 ○民事法ノート(三)

第十一號

西洋文明の基調精神

藤原守胤

初島の社會調査に關する中間報告(二・完)

生田正輝

○紹介と批評 宮澤俊義著「民主制の本質的性格」(中村菊男)

○民事法ノート(三・續)

第十二號

シャーレン法と rule of reason

高鳥正夫

○記事 「行憲國民大會」紀要(及川恒忠) ○資料 新律綱領編纂關係者考(手塚豊) ○民事法ノート(四)

第二十二卷(昭和二十四年度)

第一號

一八四二年南京條約について

英 修 道

——本條約條項及び附屬文書内容、治外法權條項に

關する研究——

一人會社について(一)

津 田 利 治

○紹介と批評 戒能通孝著「社會生活と家族法」(田中實)、ト

ーマス・ホップス著・戸鞠雅彦譯「リヴィアサン」(中村菊男)、

千種達夫著「裁判閑話」(高島正夫) ○國際問題の展望 ○民

事法ノート(五)

第二・三合併號

仲裁裁判制度の發達(一)

前 原 光 雄

擔保物權法の基本問題

今 泉 孝 太 郎

イスラエル民族に於ける王國形成の課題

石 井 良 博

○資料 明治十三年の元老院訴訟法草案(手塚豊・伊東寛)

○紹介と批評 獨禁法違反事件と審決(高島正夫)、潮田江次著

「主權と民主政治」(中村菊男) ○國際問題の展望 ○民事法ノート(六)

第四號

改正刑事訴訟法に於ける被疑者及び被告人の地位(一)

宮 崎 澄 夫

校正律例について

手 塚 豊

○國際問題の展望 ○民事法ノート(七)

第五號

長命君主論(一)

伊 藤 政 寛

仲裁裁判制度の發達(二・完)

前 原 光 雄

○國際問題の展望 ○民事法ノート(八・九)

第六・七合併號

産業社會學(Industrial Sociology)

米 山 桂 三

——その成立と發達——

英國航海條例の變遷

島 谷 英 郎

新聞倫理化の歴史的基礎

生 田 正 輝

——アメリカ新聞史上よりの考察——

○解説 獨占禁止法の改正(高島正夫) ○紹介と批評 藤原守

胤著「アメリカ革命史論—アメリカ憲法の背景と原理—」(伊

藤政寛)、蟻山政道著「日本における近代政治學の發達」(中村

菊男) ○報告 公共の福祉について—その社會的意義と限界

(田中實) ○民事法ノート(一〇)

【註】第八號より第十二號までは都合により休刊した。

第二十三卷(昭和二十五年)

第一・二・三合併號

條約なき講和(事實上の講和)と條約による講和(一)

芳賀四郎

○解説 商法改正案要綱について(高島正夫) ○紹介と批評
星野通著「民法典論争史」(手塚豊、市村今朝藏著「英國政黨論」(中村菊男) ○民事法ノート(一一・一二)

第四號

條約なき講和(事實上の講和)と條約による講和(二)

クレイトン法と持株會社

芳賀四郎
高島正夫

第五號

國際主義と世界主義

内山正熊

○資料 フランス第四共和國憲法(原文)(外務省特別資料課)
○民事法ノート(二四年九月―二五年二月分)

第六號

婚姻の範疇論

今泉孝太郎

○資料 日本管理資料(外務省特別資料課) ○紹介と批評
平井新著「共產主義の理論と批判」(中村菊男)、ルース・ベネ
デイクト著・志村義雄譯「民族―その科學と政治性」(生田正輝)

第七號

不正競争について(一)

高島正夫

ヤハヴィストに於ける歴史的思惟の特質

石井良博

○解説 第四共和國憲法概観(一)(大山正武) ○資料 上海
國是會議乙種憲法草案(石川忠雄)

第八號(福澤先生研究號)

條約改正と福澤諭吉

中村菊男

法典争議と福澤の立場

田中實

○資料 福澤諭吉の上書―長州再征に關する建白書寫本―(昆
野和七)

第九號

不正競争について(二・完)

高島正夫

○解説 第四共和國憲法概観(二)(大山正武) ○民事法ノート
(二五年三月―六月分)

第十號

平和條項による争議行爲の制限

峯村光郎

續・條約改正と福澤諭吉

中村菊男

○解説 第四共和國憲法概観(三・完)(大山正武) ○資料
華人民共和國婚姻法(須藤次郎・石川忠雄)

第十一號

國際私法上における相續人の不存在
アメリカに於ける司法權優位制の成立

久保岩太郎
檜山武夫

○資料 日本管理資料(二)(外務省特別資料課)

第十二號

假刑律の一考察

手塚 豊

法典編纂と福澤諭吉(一)

中村 菊男

○資料 ドイツ連邦共和國基本法(譯文と解説)(芳賀四郎)

第二十四卷(昭和二十六年度)

第一號

一九三五年の英國に於ける平和投票

田中 荊三

法典編纂と福澤諭吉(二)

中村 菊男

○解説 中華人民共和國における政黨及び團體(石川忠雄)

○書評 アメリカ著「憲法諸考」(大山正武) ○報告 前原光

雄氏提出學位請求論文審査報告

第二・三合併號

工場に於ける職長の調査(一)

米山 桂三

——職長の地位(Status)及び役割(Roles)に關する産業社會學的研究——

法典編纂と福澤諭吉(三)

中村 菊男

○資料 國際連合總會國際法委員會發行「ニールンベルグ裁判所條例及び判決—歴史と分析」(全譯)、ドイツ民主主義共和國(東獨)憲法(譯文と解説)(芳賀四郎)、日本管理資料(三)

(外務省特別資料課)

第四號

改正株式會社法總評

津田 利治

法典編纂と福澤諭吉(四)

中村 菊男

○時事問題 歴史的瞬间(西澤英一) ○資料 最近の米國雜誌に現われたソ聯邦研究について(二)(中澤精次郎) ○研究發表會記事

第五號

第五號

エドワード三世の治世とウィクリフの政治思想 伊藤 政寛

——長命君主論(二)——

ウエップ・ボメリン法と外國貿易

高鳥 正夫

○時事問題 政治家と政策(西澤英一) ○資料 最近の米國雜誌に現われたソ聯邦研究について(二・完)(中澤精次郎)、日本管理資料(四)(外務省特別資料課) ○紹介と批評 ミシエル

フアンリ・ファブル著「人民民主政治の理論—社會主義國家研究のために—」(大山正武) ○研究發表會記事

第六號

ヘブライ民族に於ける國家觀の變遷に就いて

石井 良博

法典編纂と福澤諭吉(五・完) 中村 菊男

○資料 改正株式會社法の解釋上の諸問題(津田利治)

第七號

船舶の性質決定に關するフランス主義の研究(一)前 原 光雄

勞働協約における「署名」の意義 清水 新

○資料 フランス共和國憲法(譯文)(芳賀四郎) (紹介と批評 キングスレイ・デイビス著「人間社會」(生田正輝) ○フランス第四共和國憲法原文(二三卷五號所載) 正誤表

第八號

刑法局格例調考

手塚 豊

——仙臺藩刑法の一研究——

船舶の性質決定に關するフランス主義の研究(二・完)

前原 光雄

○資料 代表訴訟に關する解釋上の諸問題(高島正夫) ○紹介と批評 エルンスト・ザウアー著「國際法原理」(前原光雄)、H・G・ハンブリー著「イギリスの裁判所」(平良)

第九・十號合併號(林毅陸先生追悼記念號)

林先生肖像・略歴・主要著作目錄
明治史に於ける政争と皇室
英國名の變貌

板倉 卓造

間崎 万里

——エンパイアからコモンウェルスへ——

一八七四年臺灣審社事件

米國における参政權民主化の運動

大正政變と林毅陸

清末及び民國初年に於ける連邦論と省制論

○資料 毛澤東の「實踐論」(及川恒忠)

第十一號

一子相續制の研究

今泉 孝太郎

——均分相續制の批判——

ロシア史の時代區分に關する一試案(一)

中澤 精次郎

——七世紀後半より一七世紀初頭まで——

○資料 一九四二年伊太利民法典中の國際私法的規定(須藤次郎) ○紹介と批評 「福澤諭吉選集」第一卷第二卷第三卷(中村菊男)、J・L・ブライアリ著「國際法——平時國際法入門」(中村洗)、蠟山政道著「比較政治機構論」(多田眞鋤)、原龍之助著「地方行政改革の基本問題」(金子芳雄)

第十二號

工場診斷

——工員の志氣の診斷——

ロシア史の時代區分に關する一試案(二・完)

米山 桂三

——七世紀後半より一七世紀初頭まで——

○資料 新株引受權について(高島正夫) ○紹介と批評 フィールド著「プラトンとその同時代者達——紀元前四世紀に於ける生活と思想の研究——」(石井良博)、ロバート・K・メルトン編「社會學的分析」(生田正輝)、マルセル・ワリン著「個人主義と法」(大山正武)

第二十五卷(昭和二十七年度)

第一號

エリザベス女王の治世とフーカーの政治思想(一)

伊藤 政寛

——長命君主論(三)——

アメリカに於ける司法権優位制の研究

檜山 武夫

第二部 司法権優位制の確立

○資料 中國共產黨に關する資料(及川恒忠、最近のドイツ労働立法に於ける「一般的拘束力宣言」(正田彬) ○紹介と批評 佐野學著「共產主義戰爭論」(中村菊男)、黎乃瀟著「辛亥革命與袁世凱」(石川忠雄)、大濱信景著「改正會社法概論」(米津和子)

第二號

公共企業労働法の理論

峯村 光郎

——労働法における公共企業概念について——

判例法における「法」の發見

平 良

——グッドハートの所説を中心として——

○資料 エスパニヤ國基本法(試譯)(一)(大山正武) ○紹介と批評 ミツチエル・ウエンデル著「連邦裁判所と州裁判所との關係」(平良)、蠟山政道氏他數氏著「近代國家論」第一部 權力(多田眞鋤) ○研究發表會記事

第三號

明治初年の和歌山藩刑法

手塚 豊

——「徒刑之法」及び「刑法内則」を中心として——

第二次護憲運動の意義

中村 菊男

○資料 エスパニヤ國基本法(二・完)(大山正武) ○紹介と批評 日本法哲學會編「私法の理論」家族・財産・企業(田中實)、R・クロス、P・A・ジョーンズ共著「刑法入門」(刑法判例集(中谷瑾子)、松田二郎著「會社法概論」(米津昭子)

第四號

アメリカの移民政策(一)

藤原 守胤

新株引受權に關する若干の問題

高島 正夫

○資料 ハンキー卿の戰爭責任論—連合國の無條件降伏政策と戰爭裁判の批判—(一)(内山正熊) ○紹介と批評 アンドレ・ルウアス、ポール・デュアラン共著「産業立法提要」(阿久澤龜夫)、關嘉彦著「英國社會主義—労働黨の理論家たち」(中村菊男)、H・ヘルフリッツ著「一般國法學」(多田眞鋤)

第五號

アメリカの移民政策(二)

藤原 守胤

○資料 エジプト國籍法(一九五〇年九月二八日法律第六〇號)(須藤次郎)、ハンキー卿の戰爭責任論—連合國の無條件降伏政策と戰爭裁判の批判—(二・完)(内山正熊)、日本管理資料(五)(外務省特別資料課) ○紹介と批評 ロスコオ・パウソ著「法の新しい路」(大山正武)

第六號

民事訴訟における眞實義務

伊東 乾

國民革命とフランコ憲法

大山正武

アメリカに於ける司法權優位制の研究

檜山武夫

勞働協約の「地域的拘束力」について

正田 彬

第三部 司法權優位制の役割

檜山武夫

○紹介と批評 ジェイムス著「イギリス法入門」(平良) ○研究会記事

第七號

使用者の爭議行爲

峯村光郎

眞鍮)

多田

——ロックアウトの法理——

反致論に關する一考察

須藤次郎

民法典論争の性格

中村菊男

○資料 日本管理資料(五の續き・完)(外務省特別資料課)

株式の自由讓渡性

高鳥正夫

○紹介と批評 矢部貞治編著「近衛文麿」(中村菊男)、シエンケ著「權利保護の必要」(伊東乾)、H・ラウターバハト著「國際法と人權」(中村洸)

第八號

人工授精とその法律問題

小池隆一

失踪宣告と婚姻の效力

板倉卓造

家族の法理からみた「人工授精」の問題

田中 實

ヒットラーとレーム

小池隆一

——「人工授精」における合理性と不合理性——

リンソンの Government of the people の意味に於いて

潮田江次

人工授精に關する法律上の若干問題

須藤次郎

——蠟山政道氏の異論に答ふ——

潮田江次

○紹介と批評 關根正雄著「イスラエル宗教文化史」(石井良博)、ビエール・デユクロ著「一七五〇年以後の政治關係の發達」(大山正武) ○研究会記事

豐臣秀吉の對外政策について

今宮新

第九號

紛争の解決と具體法

伊東乾

英國に於ける船主責任制限の概観

島谷英郎

第九號

紛争の解決と具體法

伊東乾

自然法と實定法

峯村光郎

明治初年の拷問制度

手塚 豊

——その廢止過程の一研究——

アメリカにおける憲法論争（一七九一—一八三二）

藤原守胤

○法學研究三〇年の回顧（前原光雄） ○「法學研究」既刊總目次一覽

第二十六卷（昭和二十八年年度）

第一號

第一號

マス・コミュニケーションの經濟的側面

生田正輝

——その商業性と獨占、集中化について——

經濟法の社會法的性格

正田 彬

——その生成と問題點——

○資料 明治初年の死刑數（手塚豊） ○紹介と批評 内山正熊

著「國際政治學序説」（中澤精次郎）、ジェニングス著「地方行政法論」（金子芳雄） ○研究會記事

第二號

舊民法と其の性格

中村 菊男

リストイットメントを中心としたアメリカ判例法の課題

平 良

ハリフア制について

遠 峰 四郎

○紹介と批評 日本新聞協會編、蠟山政道、宮澤俊義、小野秀

雄其他著「新聞の自由」（生田正輝）、サムエル・ヘンデル著「チャールズ・エヴァンズ・ヒューズと最高裁判所」（平良） ○研究會記事

第三號（商法特集號）

取締役會の權限を繞る二三の問題

津田 利治

株主名簿の閉鎖と基準日

高鳥 正夫

「特定の第三者」の新株引受權

清水 新

○資料 商法再改正に關する各界の意見 商法部會報告資料・改正會社法の問題點（大隅健一郎・大森忠夫）、株式會社法改正意見（東京商工會議所）、商法改正要望書（日本造船工業會）、商法中一部改正要望書（東京株式懇話會）、新會社法に對する改正意見（關西經濟連合會）、商法改正要望書（大阪株式事務懇談會）、商法中緊急改正問題に關する意見（經濟團體連合會）、商法再改正に關する意見書（慶應義塾大學法學部商法研究會）、商法改正の要望に關する照會（法務省）

第四號

アメリカ鐵道產業關係勸立法の研究

川田 壽

アメリカの移民政策（三・完）

藤原守胤

會社の目的外の行爲の效力

米津 昭子

○資料 中華人民共和國全國人民代表大會及び地方各級人民代表大會選舉法（石川忠雄） ○紹介と批評 山中康雄著「供託論」（小池隆一）、E・H・カー著「新しい世界」（内山正熊）、フェ

アドロス著「國際法」(中村洗)

第五號

政黨と選舉區

——二大政黨制の確立のために小選舉區制の採用を

藤原守胤

提唱す——

ヨシア王の宗教改革と申命記

石井良博

○資料 ブラジル國際私法規定(須藤次郎) ○紹介と批評 峯村光郎著「臨時工」その實際と法律問題——(川田壽)、F・フエデリチ編著「獨逸自由主義——カントよりマンに至る政治理念の展開——」(多田眞鋤)

第六號

漁村の人口問題(試論)

米山桂三

——千葉縣九十九里濱沿岸漁村を中心として——

The Meiji Restoration and the Constitutional Development of Japan 1868-1871 G. M. Beckmann

○資料 和歌山藩國律(手塚豊) ○紹介と批評 H・C・ホウキンス著「通商條約及び協定——原則と實行——」(前原光雄)、今泉孝太郎著「改訂新物權法論」(宮崎俊行)

第七號

李立三コース問題の一考察(一)

石川忠雄

ロベスピエール「憲法の擁護者」

鈴木泰平

○資料 歐州防衛共同體を設立するための條約(中村洗) ○紹

介と批評 山崎丹照著「内閣論」(金子芳雄)、猪木正道著「政治變動論」(多田眞鋤)

第八號

マス・コミュニケーションに關する政治的對策

生田正輝

株式申込證據金領收證の法的性格

高鳥正夫

我が國地方制の變遷について

金子芳雄

○紹介と批評 K・マーティン著「ハロルド・ラスキ」(伊藤政寛)、平場安治著「刑法總論講義」(中谷種子)

第九號

公共の福祉と勞働基本權

峯村光郎

——スト規制の限界についての法理——

英米刑法における故意、過失

青柳文雄

李立三コース問題の一考察(二・完)

石川忠雄

○資料 ウィリアム・A・ロブソン教授編「國有産業の諸問題」(英國)の概要(中村惠) ○紹介と批評 小池隆一著「民法概説」(今泉孝太郎)、西村信雄著「繼續的保證の研究」(田中實)

第十號

○研究會記事

明治二十三年民法(舊民法)における戸主權(一)

手塚豊

——その生成と性格——

自由裁量處分に對する判決

田口精一

代表制に關する若干の考察

大山 正 武

○紹介と批評 沼田稻次郎著「市民法と社會法」(峯村光郎)、

中村菊男著「近代日本と福澤諭吉」(富田正文)

第十一號

英米法における制定法解釋と先例

平 良

エリザベス女王の治世とフーカーの政治思想(二・完)

伊藤 政 寛

——長命君主論 三——

○資料 フィリピン民法草案中の國際私法規定(須藤次郎)

○紹介と批評 マルティン・ノート「イスラエルの士師」の職務」(石井良博)、ハンス・ケルゼン著「國際法原理」(中村泷)

第十二號

いわゆる繼續的債權(契約)關係の一考察

田 中 實

——とくに解約の問題を中心として——

ニコライ・ベストウーシエフについて(試論) 中澤精次郎

——あるデカブリストの思想——

○紹介と批評 ラザースフェルド、ペレルソン、ガアウデット「人々は如何にして大統領を選ぶか」(生田正輝)、G・リッター

著、西村貞二譯「權力思想史」(多田眞鋤)

第二十七卷(昭和二十九年度)

第一號

國際連合と國際平和

前原 光 雄

不動產物權二重讓渡の理論

宮崎 俊 行

○資料 比較憲法の方法—ミルキニス・ゲツエヴィッチの考え方—(大山正武) ○紹介と批評 ロバート・C・ノース著「國民黨と中國共產黨の指導者」(石川忠雄)、峯村光郎、有泉亨共

著「公勞法・地公勞法」(川田壽) ○受贈書主要文獻目錄

第二號

初期議會と星亨(一)

中村 菊 男

奈良時代の婚姻年齡法について

利光 三 津 夫

人類學と經濟學との協力

米山 桂 三

○資料 エジプトにおける駐留軍の刑事裁判管轄權について—エジプト混合裁判所の判決を中心として—(中村泷) ○紹介と批評 ウイリアム・シーグル著「法效果のない學問」(平良)

○受贈書主要文獻目錄

第三號

名義書換の失念と増資新株の歸屬

高 鳥 正 夫

イギリス初期議會に於ける Commons の地域的性格について

森 岡 敬 一 郎

——第十三世紀末より第十四世紀初頭にかけて——

獨逸自由主義の初期的形成と史的背景

多 田 眞 鋤

○資料 ソ連邦憲法第一二六條の改正について(中澤精次郎)

○紹介と批評 小池隆一著「債權法總論」(田中實)、シュパン

ナー著「法令の司法審査」(田口精一)、ユルスター著「爭議權と爭議法」(阿久澤龜夫) ○受贈書主要文獻目錄

(二八一—一八四〇) 藤原守胤
明治二十三年民法(舊民法)における戸主權(二) 手塚 豊
——その生成と性格——

シエファソニアン・デモクラシーの政治哲學とその實踐

○紹介と批評 田中實著「親族法・相續法」(今泉孝太郎)、「史學」第二十七卷第二、三號「慶應義塾史研究特集」(中村菊男)、米谷隆三著「約款法の理論」(米津昭子) ○受贈書主要文獻目錄

獨占禁止法改正と「公共の福祉」

藤原守胤
正田 彬

○資料 明治十一年民法草案の一部―第三編第二卷―「生存中ノ贈遺及ヒ遺囑ノ贈遺」―(手塚豊) ○紹介と批評 石井照久編著「注解株式會社法」第一卷設立(津田利治)、J・A・G・グ
リィフィス、H・ストリート共著「行政法論」(金子芳雄) ○受贈書主要文獻目錄

第七號
アメリカ法を中心としたJudicial law-making に関する序論的研究
平 良
海洋の自由
——その歴史的、理論的考察——
小笠原 督

第五號

イスラエル預言者に於けるメシヤ思想の展開過程

石井良博
中村菊男

初期議會と星亨(二)

石井良博
中村菊男

○資料 新中國選舉法に関する資料(石川忠雄) ○紹介と批評 アルフレッド・デイ・グレイシア著「政治學綱要」(大山正武)、F・ヴァルヤヴェク著「獨逸における政治思潮の成立」―一七七〇年から一八一五年迄の諸問題―(多田眞鋤) ○受贈書主要文獻目錄

第八號
大革命敗退直後における中國共產黨について 石川 忠雄
明治二十三年民法(舊民法)における戸主權(三・完)

第六號

アメリカにおける政治過程の民主化とその現代的慣行の成立

——その生成と性格——
○紹介と批評 インケレス著「ソヴェト・ロシアの世論」(生田 手塚 豊)

正輝)、淺賀榮著「行政訴訟の諸問題―判例を中心とした―」

(金子芳雄)、原田慶吉著・石井良助編「日本民法典の史的素描」(人見康子) ○受贈書主要文獻目錄

第九號

信託財産の「含有」性について

— 數人の受託者と信託財産 —

田 中 實

The Oligarchs and the Origins of Constitutional

Thought in Japan

George M. Beckmann

○資料 獨逸における政治學研究の現況―文獻を中心として―

(多田眞鋤) ○紹介と批評 ムンツ著「思想上におけるフリー

カーの位置」(伊藤政寛)、中村宗雄著「破産法原論」(宮崎俊行)、清水新著「商法概要」(米津昭子) ○受贈書主要文獻目錄

第十號

マス・コミュニケーション・メディアとしての新聞

生 田 正 輝

初期議會と星亨 (三・完)

中 村 菊 男

國際法における取得時効と公海海床の領有 (一) 中 村 洸

○資料 「法」の精神」發刊二百年記念論文集―モンテスキュー

ーの政治・憲法思想―(大山正武) ○紹介と批評 谷口知平著

「親族法」(田中實)、リヤサノフスキイ著「スラウ派の教説に

現れたロシアと西歐」(中澤精次郎) ○受贈書主要文獻目錄

第十一號

明治初年の神奈川縣刑法

手 塚 豊

— 新律綱領施行以前の臨時刑法典と徒刑制度 —

期待可能性の理論に関する一考察 (一) 中 谷 瑾 子

— 抽象的期待可能性と具體的期待可能性 —

國際法における取得時効と公海海床の領有 (二) 中 村 洸

○紹介と批評 關嘉彦著「英國勞働黨の社會主義政策」(中村菊

男)、ヘレン・カム、その他著「中世代表制の理論と實際」(森

岡敏一郎)

第十二號

證券所持人の同一性に関する調査義務 高 鳥 正 夫

國際法における取得時効と公海海床の領有 (三・完)

中 村 洸

期待可能性の理論に関する一考察 (二・完) 中 谷 瑾 子

— 抽象的期待可能性と具體的期待可能性 —

○資料 舊民法 (財産編・財産取得編前半・債權擔保編・證據

編) 審查元老院會議筆記 (手塚豊) ○紹介と批評 デュボン・

ソメール著「クムランのユダヤ教團とエッセネ派―死海寫本に

關する新研究―」(石井良博)、エドオアード・ドレリアン著

「勞働運動史」(阿久澤龜夫) ○受贈書主要文獻目錄

第二十八卷 (昭和三十年度)

第一號

ジャクソニアン・デモクラシー

舊民法と民法典論争

藤原守胤
中村菊男

第四號

裁判による憲法保障への期待

田口精一

「三月革命前期」(Vormärz)における獨逸自由主義思想に

關する一考察

多田眞鋤

○資料 舊民法(財産編・財産取得編前半・債權擔保編・證據編) 審査樞密院會議筆記(手塚豊) ○紹介と批評 小池隆一著「身分法概説」(人見康子)、嶺山政道編「政黨」(多田眞鋤)

○受贈書主要文獻目錄

第二號

競賣手續と公信的効果

伊東 乾

アメリカにおける「能率概念を中心とする」行政學の變遷

關口謙司

奈良時代における封物徵收手續について

利光三津夫

○紹介と批評 鈴木安藏編「憲法學の課題」(大山正武)、伊藤正巳著「イギリス公法の原理」(金子芳雄) ○受贈書主要文獻目錄

第三號

マス・コミュニケーションの媒體としてのラジオ

生田正輝

アメリカにおけるモン・ローの繼受

平良

○資料 中華人民共和國憲法及び四組織法(及川恒忠、石川忠雄) ○紹介と批評 國際法學會編「國際法講座」(中村洗、大隅健一郎著「全訂會社法論上卷」(米津昭子) ○受贈書主要文獻目錄

文獻目錄

The Democratic Movement and the Constitutional Policy of the Satsuma-Choshu Oligarchs 1876-1881

G. M. Beckmann

○資料 明治前期の養子反對論(手塚豊) ○紹介と批評 ライトブルッフ「法のプレビエ」(ライトブルッフ研究會、フィフナー、プレスタス共著「行政學」(關口謙司) ○受贈書主要文獻目錄

第五號

ロースヴェルト革命

藤原守胤

—— ニュー・デイルの政治的影響 ——

大權令狀 Prerogative Writs についで

金子芳雄

農家相續制度の進路

宮崎俊行

○紹介と批評 中川善之助編「民法演習判例集」親族・相續編(田中實)、○フッド・フィリップ著「イギリス法入門」(平良)

○受贈書主要文獻目錄

第六號

財産分與の一考察(一)

田中實

——とくに内縁解消と財産分與——

有價証券の取得行為の瑕疵 高鳥 正夫

反致論をめぐって 林 脇 トシ子

○紹介と批評 關根正雄・内田芳明共著「舊約宗教の社會學的背景—ウエーバー『古代ユダヤ教』研究—」(石井良博)、シユナイダー著「裁判をうけない高權行為」(田口精一)、入江啓四郎著「國際公法」(中村洗) ○受贈書主要文獻目錄

第七號

條約改正と民法典論等 中村 菊男

——特に大隈重信の條約改正と關連して——

財産分與の一考察(二・完) 田 中 實

The Constitutional Debate in Japan 1881-1885

George M. Beckmann

○資料 舊民法成立過程における離婚後の養料給付規定(田中實) ○紹介と批評 W・W・ロストウ著「共產中國の見通し」(石川忠雄)、田上稷治著「行政法總論」(金子芳雄)、W・ミッテルマイエル著「行刑學」(宮澤浩一) ○受贈書主要文獻目錄

第八號 (ラートブルッフ特集號)

ラートブルッフ刑法草案について 宮 崎 澄夫

ラートブルッフ刑法草案及理由書 中 谷 瑾 子

○受贈書主要文獻目錄

第九號

明治二十三年民法(舊民法)における養子制度(一)

——その生成と性格—— 手 塚 豊

公海の自由と定着漁業の法理(一) 中 村 洗

○資料 デンマーク人工授精法案(田中實・人見康子) ○紹介と批評 巖山政道・鶴飼信成・辻清明・川原次吉郎・中村菊男編「總選舉の實態」(生田正輝)、ポッパ著「開いた社會とその敵對者達」第一卷プラトーンの魔力(石井良博)、熊谷開作著「日本近代法の成立」(向井健) ○受贈書主要文獻目錄

第十號

舊民法と明治民法 中村 菊男

——星野通教授を駁す——

明治二十三年民法(舊民法)における養子制度(二)

——その生成と性格—— 手 塚 豊

公海の自由と定着漁業の法理(二・完) 中 村 洗

○紹介と批評 吉富重夫著「政治的統一の理論」(多田眞鋤)、ノウルズ著「ストライキー労働爭議の研究」(川口實) ○受贈書主要文獻目錄

第十一號

第一次國共合作とコミンテルン 石川 忠雄

明治二十三年民法(舊民法)における養子制度(三)

手塚 豊

—その生成と性格—

○資料 フランスにおける犯罪少年及び虞犯少年の處遇(青柳文雄) ○紹介と批評 中村宗雄著「自然科学に範型を求めた民事訴訟理論の再構成」(宮崎俊行)、グスターフ・ラートブルッフ著・阿南成一譯「法哲學入門」(宮澤浩一) ○受贈書主要文獻目錄

第十二號

大衆とマス・コミュニケーション 生田 正輝
合衆國連邦裁判所における州法 平 良
—ソフトウェア對タイムソン事件からエリー鐵道會社對
タムキンズ事件まで—

The Oligarchs and the Compilation of the Meiji Constitution 1881-1889

George M. Beckmann

○紹介と批評 G・M・クラクラフ著「近代ドイツの諸起源」(森岡敬一郎)、R・H・S・クロスマン著、小松春雄譯「政府と人民」(多田眞鋤)、ノーベック著「高島」(十時嚴周) ○受贈書主要文獻目錄

第二十九卷(昭和三十一年度)

第一・二・三合併號(板倉卓造(西本辰之助先生謝恩記念論文集))

板倉・西本兩先生近影・著作目錄

本號發刊の趣旨

離婚による財産分與の性質について
ヤクブ汗國の英露との關係
—中央アジア外交史の一節—

ジョージ五世と一九三一年の危機

地方小都市の近代化と職業の再編成
法の實定性と正當性

新律綱領の施行に關する一考察

アメリカ史における奴隸制問題(一八三〇—一八六〇)

明治中期の政治と星亨

平和的共存思想の歴史的展開

當事者關與の訴訟構造と辯論主義

自動車月賦販賣の若干問題
—とくに自動車抵當制度との關連において—

判例より見た有價證券法

政治的無關心とマス・コミュニケーション

ボン憲法における社會的法治國家について

連邦のコモン・ローとエリー鐵道會社對タムキンズ事件の法則

海港の開放について

及川 恒忠

小池 隆一

英 修 道

伊藤 政 寬

米山 桂 三

峯村 光 郎

手塚 豊

藤原 守 胤

中村 菊 男

内山 正 熊

伊東 乾

田 中 實

高島 正 夫

生田 正 輝

田口 精 一

平 良

前原 光 雄

○編集後記

第四號

懲戒權と懲戒解雇

民法典論争論の経過と問題點(上)

Karl von Rotteck の政治思想

Die Konstitution に視點を据えて——

○紹介と批評 リチャード・L・ウォーカー著「共產主義下の

中國—その最初の五年間—」(石川忠雄)、家永三郎著「革命思

想の先驅者—植木枝盛の人と思想—」(向井健) ○受贈書主要

文獻目録

第五號

李立三コースとロシア留學生派

大化年代の食封について

○資料 公共企業體等勞働關係法の改正法案の成立と批判(峯

村光郎)、明治前期における養子論—手塚教授稿「明治前期の養

子反對論—の補遺として—(向井健) ○紹介と批評 カール・

レーヴェンシュタイン著「近代國家における君主政治」(多田眞

鍬)、フリードリッヒ・ノヴァコウスキー著「オーストリア刑法

綱要」(宮澤浩一) ○記事 ○受贈書主要文獻目録

第六號

歴史的灣又は歴史的水域の法理(一)

——一九五一年イギリス・ノルウェー漁業事件の

國際司法裁判所判決に關連して——

アメリカ議會の委員會制度(一)

○資料 戦後日本における現代中國關係主要雜誌論文目録(一)

(石川忠雄、アルバニア人民共和國憲法(大山正武) ○紹介

と批評 今泉孝太郎著「新民法總則」(小池隆)、中村菊男著

「近代日本の法的形成—條約改正と法典編纂—」(向井健) ○

受贈書主要文獻目録

第七號

捺印のみによる株券の裏書

民法典論争論の経過と問題點(中)

アメリカ議會の委員會制度(二・完)

○資料 明治九年の養子論争と植木枝盛—「明治前期における

養子論—補考—(向井健)、戦後日本における現代中國關係主要

雜誌論文目録(二)(石川忠雄) ○紹介と批評 中村宗雄著

「民法總則」(宮崎俊行)、米山桂三著「社會調査—勞働・工場・

漁村」(十時殿周) ○受贈書主要文獻目録

第八號

プラトーンに於ける「哲人王」の理念の成立に關する一考察

民法典論争論の経過と問題點(下)

木下尚江における近代思想の展開

——日露戦争前後を中心として——

杉野 弑 男

中村 菊 男

多田 眞 鍬

石川 忠 雄

利光 三津 夫

高 島 正 夫

中 村 菊 男

杉 野 弑 男

石 井 良 博

中 村 菊 男

中 村 勝 範

石 井 良 博

中 村 菊 男

中 村 勝 範

石 井 良 博

中 村 菊 男

中 村 勝 範

石 井 良 博

中 村 菊 男

中 村 勝 範

石 井 良 博

中 村 菊 男

中 村 勝 範

石 井 良 博

○資料 戦後日本における現代中國關係主要雜誌論文目録(三)
(石川忠雄) ○紹介と批評 谷口知平著「親子法の研究」(田中實)、ゲルハルト・シルファート著、上杉重三郎・伊東勉共譯「ドイツ三月革命の研究」(多田真鋤) ○受贈書主要文獻目録

第九號

マス・コミュニケーションの媒體としての映畫 生田 正輝
——その特質について——

調停原理の基本的特質

宮崎 俊行
○資料 舊民法(財産取得編後半・人事編)元老院議定案(手塚豊・中村菊男)、戦後日本における現代中國關係主要雜誌論文目録(四)(石川忠雄) ○紹介と批評 ゲルハルト・ドゥルカイ著「債權の物權化」(林脇トシ子)、中村吉三郎著「明治法制史」増訂版(向井健) ○受贈書主要文獻目録

第十號

地方選挙人の政治意識

——三重縣鳥羽市國崎町における實態調査——

中村 菊男
中村 勝範

株主及び株主以外の者の新株引受權

米津 昭子

○資料 死刑廢止の歴史(一)——西ドイツ聯邦共和國を中心として(宮澤浩一)、戦後日本における現代中國關係主要雜誌論文目録(五)(石川忠雄) ○紹介と批評 福島正夫編「明治民法の制定と稔積文書」『法典調査會 稔積陳重博士關係文書』の解説・目録および資料——(手塚豊)、フリッツ・パウ著「非

訟事件」第一卷手續法總論(石川明) ○受贈書主要文獻目録
第十一號

義和團に關する一考察

英 修 道

——中國資料に據る義和團事變發端の研究——
歴史的變又は歴史的水域の法理(二)
——一九五一年イギリス・ノルウェー漁業事件の

中 村 洗

國際司法裁判所判決に關連して——

○資料 死刑廢止の歴史(二・完)——西ドイツ聯邦共和國を中心として(宮澤浩一)、戦後日本における現代中國關係主要雜誌論文目録(六・完)(石川忠雄) ○紹介と批評 ロバート・レッドフィールド著「農民社會と文化——文明についての人類學的アプローチ」(十時駿周)、民事訴訟法學會編「民事訴訟法講座」第一卷(第五卷)(石川明) ○受贈書主要文獻目録

第十二號

アメリカ史における奴隸制論争(一)

藤原 守胤

——一八二〇年の妥協より一八五〇年の妥協へ——

議決權行使の代理人

清 水 新

行政學における「P・A公式」を前提とする
管理概念とその變貌

關 口 謙 司

○資料 ヴェトナム民主共和國憲法(大山正武) ○紹介と批評 太田武男著「離婚原因の研究」(人見康子)、デーヴィッド・イーストン著「政治體系——政治學の現状への究明」(奈良和

重) ○受贈書主要文獻目録

第三十卷 (昭和三十一年度)

第一號

團體交渉をめぐる若干問題

アメリカ史における奴隸制論争 (二)

——一八二〇年の妥協より一八五〇年の妥協へ——

英法における債權の侵害と不法行爲 (一)

○資料 明治初年の藩議會 (手塚豊・山本幹三)

評 M・ウェーバー著・相澤久譯「政治書簡集」(多田眞鋤)、

トーマス・P・ジェンキン著「政治理論の研究」(奈良和重)

○受贈書主要文獻目録

第二號

ヘーロドトスに於ける歴史的思惟の特質に就いて

英法における債權の侵害と不法行爲 (二・完)

社會諸科學の統合研究について

——Julian H. Stewardの理論に關する若干の考察——

○資料 カトリックの刑罰觀 (青柳文雄)

塚豊著「明治初期刑法史の研究」(向井健)、生田正輝著「マス・

コミュニケーションの諸問題」(十時殿周) ○受贈書主要文獻

目録

第三號

Natural Justice と行政争訟

——英國行政法の一斷面——

アリステテレスのいわゆる「憲法」

○資料 明治維新直後の府、縣議會 (手塚豊)

エリフ・カツツ、パール・F・ラザースフェルド共著「個人的

影響」マス・コミュニケーションの流れにおける人々の役割」

(生田正輝)、ミレット著「管理行政論」(關口謙司) ○受贈書

主要文獻目録

第四號

勞働者の社會的特性

——主に勞務管理の對象としての勞働者について——

不眞正不作爲犯の問題性に關する一考察 (一) 中谷 瑾子

一九世紀初頭のロシアの政治狀況 (一) 中澤 精次郎

——スペインスキイ憲法草案を中心とした試論的考察——

○資料 フランス民事訴訟法改正草案について (一)(石川明)

○紹介と批評 峯村光郎・正田彬共著「私的獨占禁止法」(清水

新)、鈴木竹雄著「手形法・小切手法」(米津昭子) ○受贈書

主要文獻目録

第五號

イギリス最近の對米政策

一九世紀初頭のロシアの政治狀況 (二・完)

金子 芳雄

大山 正武

○紹介と批評

○受贈書

米 山 桂 三

中澤 精次郎

石 井 良 博

小 林 規 威

十 時 殿 周

手 塚 豊

○紹介と批評

○受贈書主要文獻

目録

内 山 正 熊

中 澤 精 次 郎

——スペランスキイ憲法草案を中心とした試論的考察——

○資料 フランス民事訴訟法改正草案について(二・完)(石川明) ○紹介と批評 ハンス・v・ヘンティッヒ著「刑罰

(I)その原始形態と文化的聯關」「刑罰(II)その近代的な現象形態」(宮澤浩一)、明治史料研究連絡會編「民權論からナショナリズムへ」(向井健) ○受贈書主要文獻目錄

第六號

昭和政治の一過程

——政黨政治の凋落と大政黨發會の成立——

時効における援用と中斷との關係 内池慶四郎

○資料 仙臺藩格例 附・伺書決議案(手塚豊) ○紹介と批評 「フリードリッヒ・レント七十五歲記念祝賀論文集」(石川明)、安食正夫著「産業社會學」(十時嚴周) ○受贈書主要文獻目錄

第七號

社會的法治國家の問題

歴史的灣又は歴史的水域の法理(三・完)

——一九五一年イギリス・ノルウェー漁業事件の國際司法裁判所判決に關連して——

○資料 現代刑法理論と民法—ニーゼのニッパードイ批判をめぐつて—(一)(中谷種子・宮澤浩一)、全體主義をめぐる諸問題—Totalitarianism, 1954, Harvard University Press.

田口 精一 中村 洗

における統合的研究—(一)(奈良和重) ○紹介と批評 ハンス・v・ヘンティッヒ著「諸犯罪の心理學(I)窃盜・侵入窃盜・強盜」(宮澤浩一)、明治前期大審院判決録刊行會編「明治前期大審院民事判決録」第一卷(向井健) ○受贈書主要文獻目錄

第八號

農地の法律關係

果樹栽培農家における相續の實態と考え方(一) 宮崎 俊行

○資料 現代刑法理論と民法—ニーゼのニッパードイ批判をめぐつて—(二・完)(中谷種子)、全體主義をめぐる諸問題—「Totalitarianism, 1954, Harvard University Press. における統合的研究—(二・完)(奈良和重) ○紹介と批評 ピアソン、ヒル共著「ラテン・アメリカの統治」(賀川俊彦)、外崎光廣編「植木枝盛家族制度論集」(向井健) ○受贈書主要文獻目錄

第九號

イスラエル初期王國の形成と構造

果樹栽培農家における相續の實態と考え方(二・完)

○資料 長野縣小布施町における調査の報告とその教えるもの——明治二十三年民法(舊民法)編纂過程における婚約

石井 良博 宮崎 俊行

今泉 孝太郎

(手塚豊、中小企業の組織化をめぐる法案と問題點(正田彬)
 ○紹介と批評 S・B・クライムズ著「中世英國行政史序説」
 (森岡敏一郎)、大隅健一郎著「商法總則」(飯基光男) ○受贈
 書主要文獻目錄
 第十號

逆縁婚の一斷面

田中實

——福島縣下における調査から——

中澤精次郎

一九一八年のロシア憲法制定會議に關する諸問題

——文化人類學における比較研究の方法について——

○資料 明治初年の藩議會・府、縣議會(補遺)(手塚豊) ○
 紹介と批評 高梨公之著「日本婚姻法論——民法における婚姻の

自由とその社會的基礎についての一研究——(人見康子)、T・
 パーバッシュ著「勞働組合主義の實際」(川口實) ○受贈書主

要文獻目錄

第十一號

英國國家賠償の法理(一)

——急進主義を中心にして——

○資料 ロバート・C・ノース氏による張國燾回顧談記錄——中
 國共產黨史研究の一資料——(石川忠雄) ○紹介と批評 小田

幸徳秋水の生涯と思想

金子芳雄

中村勝範

田中實

中谷瑾子

石川明

滋著「海洋の國際法構造」(中村洗)、H・v・ヘンティッヒ著諸
 犯罪の心理學(Ⅱ)殺人(宮澤浩二)、W・エーベンシュタイ
 ン著「現代のイズム——共產主義、ファシズム、資本主義、社會
 主義——(奈良和重) ○受贈書主要文獻目錄

第十二號

社會的地位と政治意識

——三重縣鳥羽市安樂島町における實態調査——

不真正不作爲犯の問題性に關する一考察(二・完)

非訟事件理論の限界

○紹介と批評 S・F・ナーデル著「社會構造の理論」(十時殿
 周、C・J・フリードリッヒ、Z・K・ブルツェツィンスキイ
 共著「全體主義的獨裁と專制」(奈良和重) ○受贈書主要文獻

目錄

中村勝男

中谷瑾子

石川明

第三十一卷(昭和三十三年度)

第一號

兄弟姉妹の代襲相續について

——最近の福岡高裁判決をめぐり——

會社の本店所在地の意義

ラテン・アメリカにおける革命について

——その發生要件と基本的特質——

田中實

米津昭子

賀川俊彦

○資料 第九回犯罪生物學協會會議(宮澤浩一) ○紹介と批評 清宮四郎著「憲法」I(田口精一)、家永三郎・庄司吉之助共編「自由民權思想」(向井健) ○受贈書主要文獻目錄

第二・三合併號

日本人のマス・コミュニケーション行動

加生 田正 納恒 男輝

——受け手の重複について——

フランス法における爭議權の構造

阿久澤 龜夫 奈良 和重

全體主義的獨裁の一般的特徴について

○資料 J・H・ウィグモア博士關係文獻目錄(平良) ○紹介と批評 今泉孝太郎著「農民法研究—農地法の新しい解釋—」(宮崎俊行)、H・レフェレンツ著「兒童の犯罪性—刑事學的・少年精神病學的研究—」(宮澤浩一)、E・V・シュナイダー著「産業社會學」(十時嚴周)、中村菊男著「明治的人間像—星亨と近代日本政治—」(中村勝範) ○受贈書主要文獻目錄

第四號

田中内閣の對華外交(一)

中村 菊男

非訟事件の定型分類

石川 明

○資料 默阿彌の「散切物」に見えたる明治初年の法制(一)

(向井健・岩田正彦) ○紹介と批評 J・ヴィンケルマン編

「M・ウェーバー・國家社會學」(多田眞鍮)、G・スピロオプ

フ著「團決權」(阿久澤龜夫) ○受贈書主要文獻目錄

第五號

長岡藩の寄場と松山(高梁) 藩の徒刑所 手塚 豊
——西洋近代的自由刑の移入を問題として——

傳聞法則における證據能力と證明力

青柳 文雄

○資料 オーエン・ラティモア教授著作目錄(石川忠雄)、默阿彌の「散切物」に見えたる明治初年の法制(二)(向井健・岩田正彦) ○紹介と批評 J・ハザード著「ソ連の政治制度」(中澤精次郎)、H・B・メイヨ著「デモクラシーとマルクス主義」(奈良和重) ○今泉孝太郎教授・手塚豊教授學位請求論文審査要旨 ○受贈書主要文獻目錄

第六號

ラジオに對するテレビジョンの影響

生田 正輝

アメリカ社會の變容(一)

太田 俊太郎

——特にニュー・ディールを中心として——

○資料 受託者の權利—ノルトによる管理權の構成—(田中實・内池慶四郎)、默阿彌の「散切物」に見えたる明治初年の法制(三)(向井健・岩田正彦) ○紹介と批評 ライマン著「第一次労働黨内閣、一九二四年」(伊藤政寛)、森下菅根編「植木枝盛遺稿・無天雜錄」(向井健) ○受贈書主要文獻目錄

第七號

江西ソヴェト期における抗日反帝統一戰線の諸問題

石川 忠雄 徳田 教之

英國國家賠償の法理 (二・完)

アメリカ社會の變容 (二・完)

——特にニュー・デールを中心として——

○資料 明治初年の東京府刑法 附・明治三年東京府刑人員表(手塚豊) ○紹介と批評 ガロ・ブラサ著「ラテン・アメリカにおけるデモクラシーの諸問題」(賀川俊彦) ○受贈書主要

文獻目録

第八號

ドイツ史學と國家の問題

——F・マイネッケ、G・リッター等をめぐる試論——

會社の負擔に歸すべき設立費用

○資料 ドイツ語圏の各國大學における刑事法學關係研究者總覽(宮澤浩一) ○紹介と批評 E・ベティヒャー著「集團的勞働法における武器の平等と平等の處遇」(川口實)、A・レイン・

ブル著「十二・三世紀の社會の義務」(森岡敬一郎) ○受贈書主要文獻目録

第九號

ルーズヴェルトの極東政策批判

田中内閣の對華外交 (二・完)

○判例研究 「民法」實子として出生届の出された表見相續人が善意の第三者となした抵當權設定契約の効力(内池慶四郎)、

「商法」株主總會決議の存否(津田利治・清水新)、

「法學研究」既刊總目次一覽

金子 芳雄
太田 俊太郎

多田 眞鋤

清水 新

内山 正熊

中村 菊男

一) 出炭阻止ビケチングと威力業務妨害(峯村光郎) ○資料 新庄藩の徒刑(手塚豊)、フランス刑事訴訟法改正草案(一)(青柳文雄・宮澤浩一) ○紹介と批評 峯村光郎譯「ザウワ・法哲學序説」(伊東乾)、清水新著「會社法論」(阪登光男) ○受贈書主要文獻目録

第十號

社會構造の變動と權力移動の形態

——三重縣鳥羽市小濱町における實態調査(一)——

直接行動論の擡頭

○判例研究 「商法二」假差押することを主たる目的としてなした隠れたる取立委任裏書と訴訟信託、手形債權の裏書讓渡と保證債權の附從性(高島正夫)、

「商法三」先行裏書の欠缺とその補充(松岡和生) ○資料 フランス刑事訴訟法改正草案(二・完)(青柳文雄・宮澤浩一) ○紹介と批評 中村菊男著

「昭和政治史」(石川忠雄)、津田利治著「會社法の大意」(清水新) ○受贈書主要文獻目録

中村 菊男
堀江 湛

中村 勝範